

他人事（ひとごと）ではありません

校 長 武井 正明

今まで一度だけ、ひき逃げの場面に遭遇したことがある。

大学1年の時だった。自転車で自宅への帰途だった。

ガソリンスタンドから出て右折して道路に合流しようとしたバイクに、坂道を登り切って下りに差し掛かった猛スピードの自動車が突っ込んできた。

あっ、危ない!!

その瞬間の映像が、一枚の写真のように今でも鮮明に脳裏に焼きついている。

車がバイクを撥ねた瞬間、人の身体が人形のようにぐにやりと折れ曲がった。そしてその状態を復元するように空中を数十メートル吹っ飛んだ。バイクは原形をとどめていなかった。車は地鳴りを上げて加速し、次の交差点を信号無視して海の方へ右折していった。

あっという間の出来事だった。

即座にスタンドの店員さんが救急車を呼んだ。私はその場で固まって動けなかった。

偶然通りかかった先輩が「おまえ、第一発見者だろ!!」と声を掛けてきた。

暫くして警察も来た。しかし情けないことに、私はあまりの衝撃に、車の色も特徴も、何ひとつ答えることができなかった。

しかし、信号待ちをしていた人が、冷静に車のナンバーと車種を記憶していた。

それが決め手となり、ひき逃げ犯は翌日富山との県境でスピード逮捕された。バイクの人は一命を取り留めはしたものの、腰の骨を折る全治6カ月の重傷だった。後遺症も残ったかもしれない。

それが確か9月の終わりから10月に差し掛かる秋口だった。日暮れの早い、真っ赤な夕焼けの後だったと記憶している。

幸い吉中の生徒達は、事故のない健康な夏休みを送ることが出来た。

しかし、本当に危ないのはこれからの季節だ。

私はドライバーとして、細心の注意を払って運転をしている。

それでも…

起きてしまう時は起きてしまうのが事故だ。

ただ、未然に防げる事故が殆どだ。急な進路変更をしていないか。止まるべきところでしっかり止まっているか。スピードを出し過ぎていないか。

注意一秒、ケガ一生という。

失ってしまったら取り返しのつかない大切な命だ。ドライバーの方にもご家族がいる。その不注意は、一瞬で自分だけではない多くの大切な人を不幸にしてしまうのだ。

だからお互い登下校や通勤時間帯、できる注意を払っていきましょう。